

豊田市都心地区空間デザインをかんがえる 市民ワークショップ（第三回）

平成 28 年 9 月 4 日（日）10 時 00 分～12 時 30 分
豊田市役所東庁舎 7 階大会議室

座 長：小林正美（明治大学 教授）
星卓志（工学院大学 教授）・星野裕司（熊本大学大学院 准教授）

参加者：43 人

配布資料：市民ワークショップ（第三回）プログラム
ワークショップ NEWSLETTER（第二回）

開催内容

1. 第二回ワークショップの振り返り・推進会議のまとめ
2. 豊田市より
3. 都心を育てる会（未来部会）より発表
4. つくる・つかうチームより
各広場の使い方・キャラ付けについて
5. 全体議論での主な意見

（具体的に『誰が・どの時間帯に・何をしたいか』）を議論

【豊田市駅西口デッキ】

- ・平日朝：通勤通学客が朝食をとる
- ・平日昼：子育てママが子どもを遊ばせながら飲食
- ・平日夜：サラリーマンの飲み会集合場所
- ・週末朝：体を動かすイベントの開催
- ・週末昼：フリーマーケット

【豊田市駅東口まちなか広場】

- ・平日朝：高齢者がラジオ体操
- ・平日夕：中高生が放課後勉強
- ・週末朝：図書館と連動した読み聞かせイベント
- ・イベント：トヨタ自動車のカーイベント

【停車場線】

- ・平日朝：近隣住民の散歩
- ・平日昼：アート、花、彫刻等の販売
- ・平日夜：家族が映画後に食事
- ・週末朝：農家の人による朝市
- ・イベント：マルシェ、映画鑑賞会

⇒これらは各広場のデザインを考える大きなポイントとしていく

6. 当日の結論

- ・WSを通して市民の意見が共有出来てきているように感じる／その場所にあった広場のあり方として、様々なバリエーションがあるのが良い
- ・施設との連動やエリアマネジメント などソフトの話が考えられていることも素晴らしい
- ・今回WS のように『誰が何をやる』など想定してデザインされるのは最近のことであり、それを踏まえても豊田は最先端の事例になるであろう
- ・家『1stPlace』職場『2ndPlace』お気に入りのカフェ等『3rdPlace』に続き、公共空間を『4thPlace』として捉える考え方が重要である
- ・物理的な『空間』に経験や活動を積み重ねることで自分たちの『場所』にしていくことが大切である
- ・良質な食事の提供、市民の健康のための場所、アート披露の場所など様々なアクティビティを起こせるポテンシャルがある
- ・用がなくても来てもらう、滞在時間を増やしてもらう工夫が大切／建物の特徴に合わせた連動やにじみ出しのあり方がある

— 以 上 —